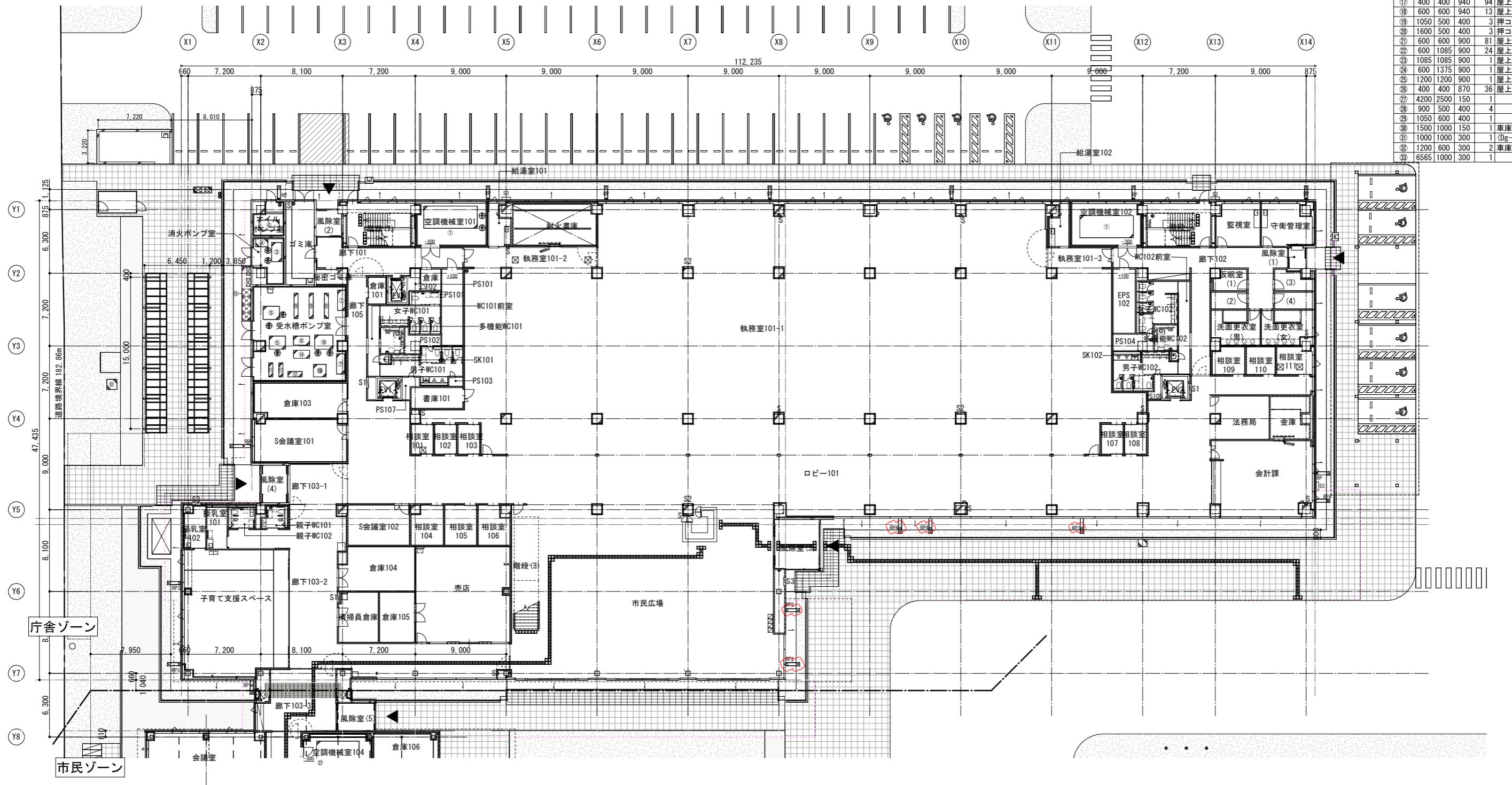
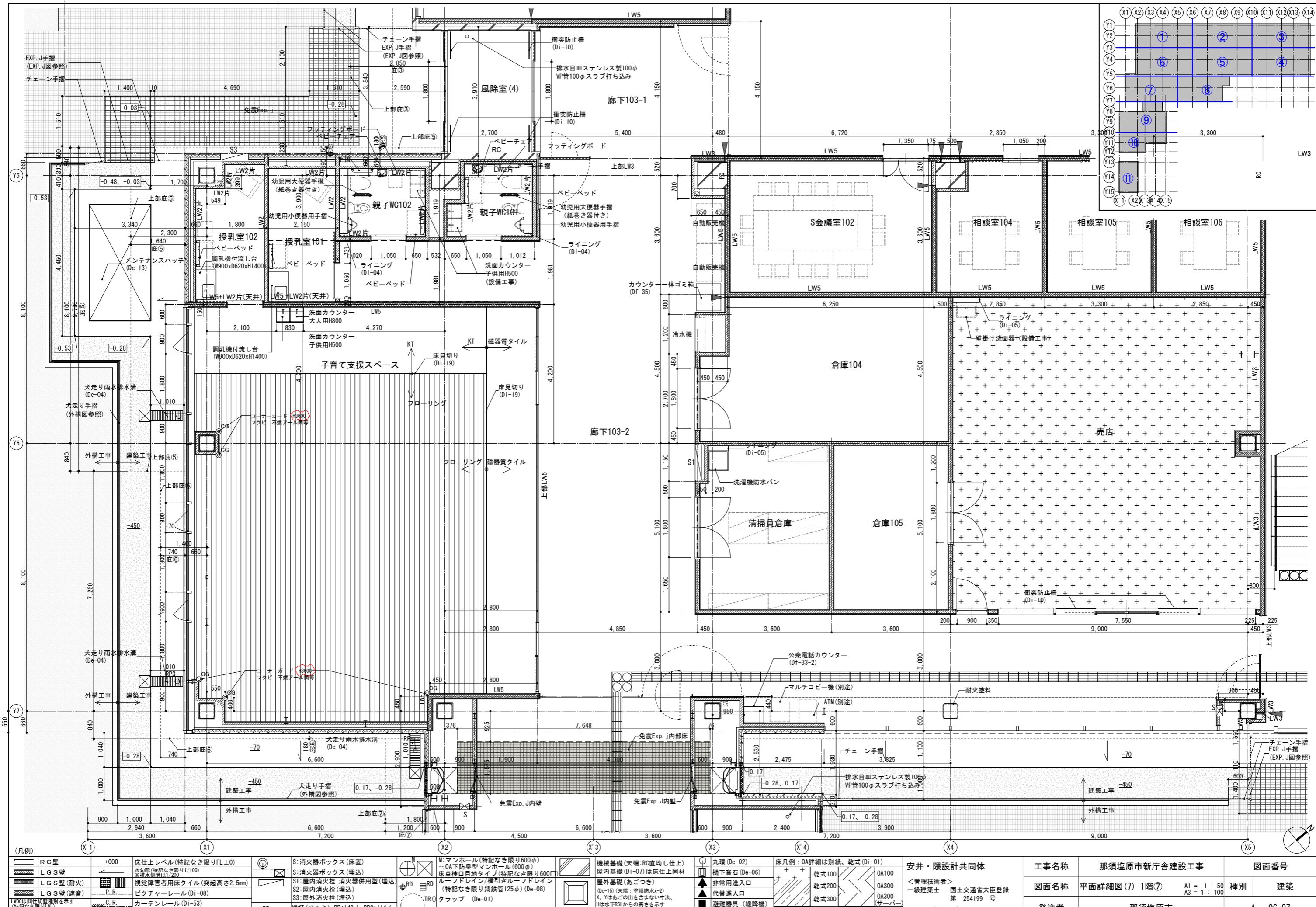


機械基礎一覧					
規格	幅	奥行	高さ	個数	備考
5300	2200	150		6	
1000	1900	300		1	
800	1200	150		1	
1600	1300	300		2	
1000	2000	200		1	
800	2000	150		2	
1600	900	300		1	
400	2500	500		3	
1800	1400	300		1	
400	1400	500		2	
1400	550	300		1	
1250	1250	200		1	
1600	800	300		1	
900	5300	200		1	
4500	2500	150		1	
400	400	940		94	屋上基礎 (5-22-2)
600	600	940		13	屋上基礎 (5-22-2)
1050	500	400		3	押コン立上上げ
1600	500	400		3	押コン立上上げ
600	600	900		81	屋上基礎 (5-22-2)
600	1085	900		24	屋上基礎 (5-22-2)
1085	1085	900		1	屋上基礎 (5-22-2)
600	1375	900		1	屋上基礎 (5-22-2)
1200	1200	900		1	屋上基礎 (5-22-2)
400	400	870		36	屋上基礎 (5-22-2)
4200	2500	150		1	
900	500	400		4	
1050	600	400		1	
1500	1000	150		1	車庫棟 (Dg-9)
1000	1000	300		1	(Dg-9)
1200	600	300		2	車庫棟 (Dg-9)
6565	1000	300		1	

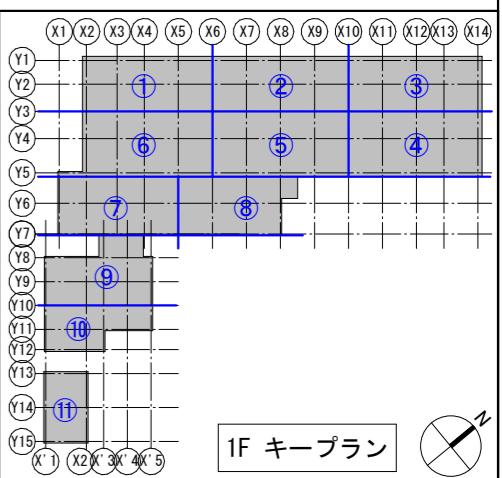
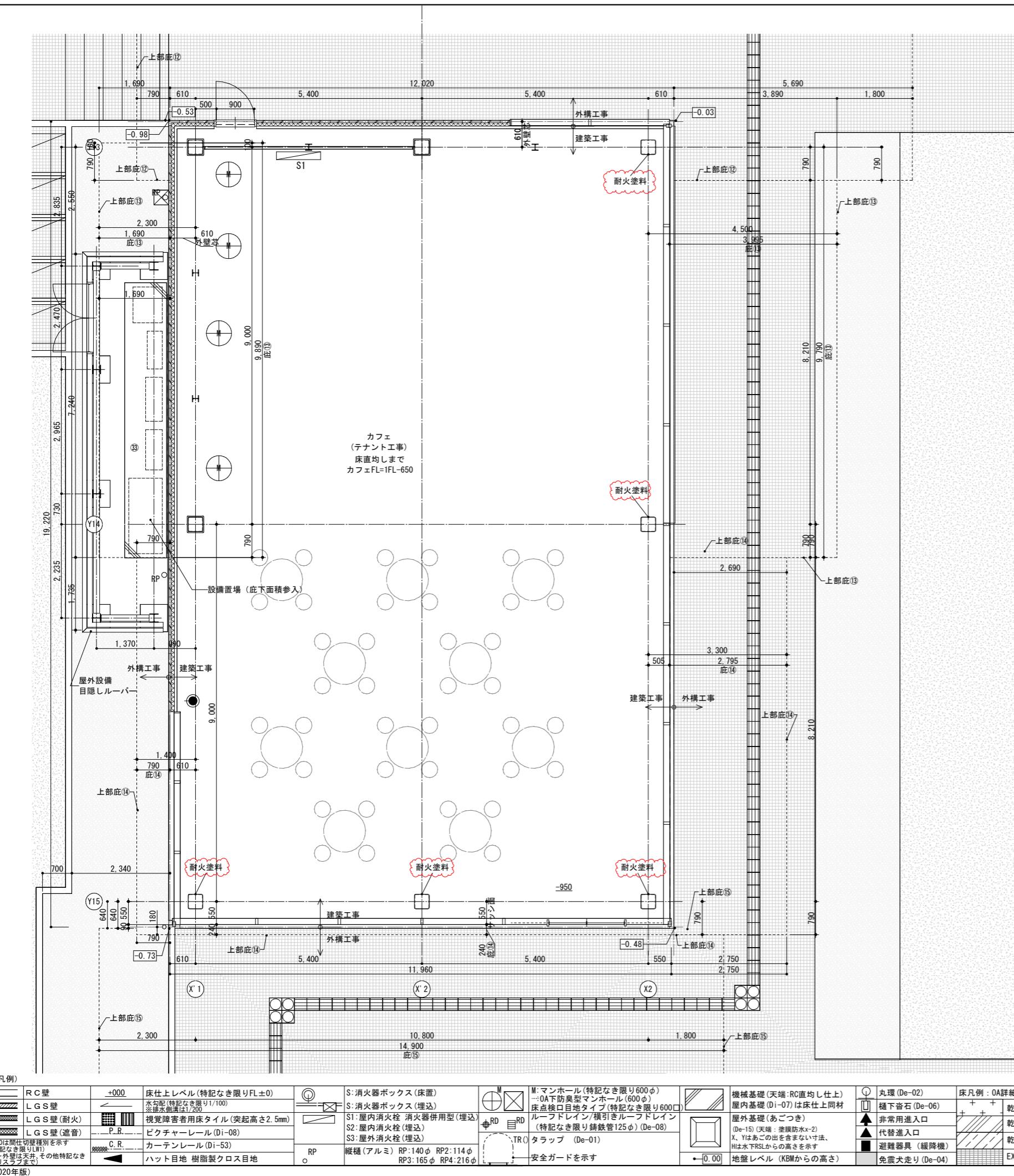


※廊下204, 303, 304は欠番

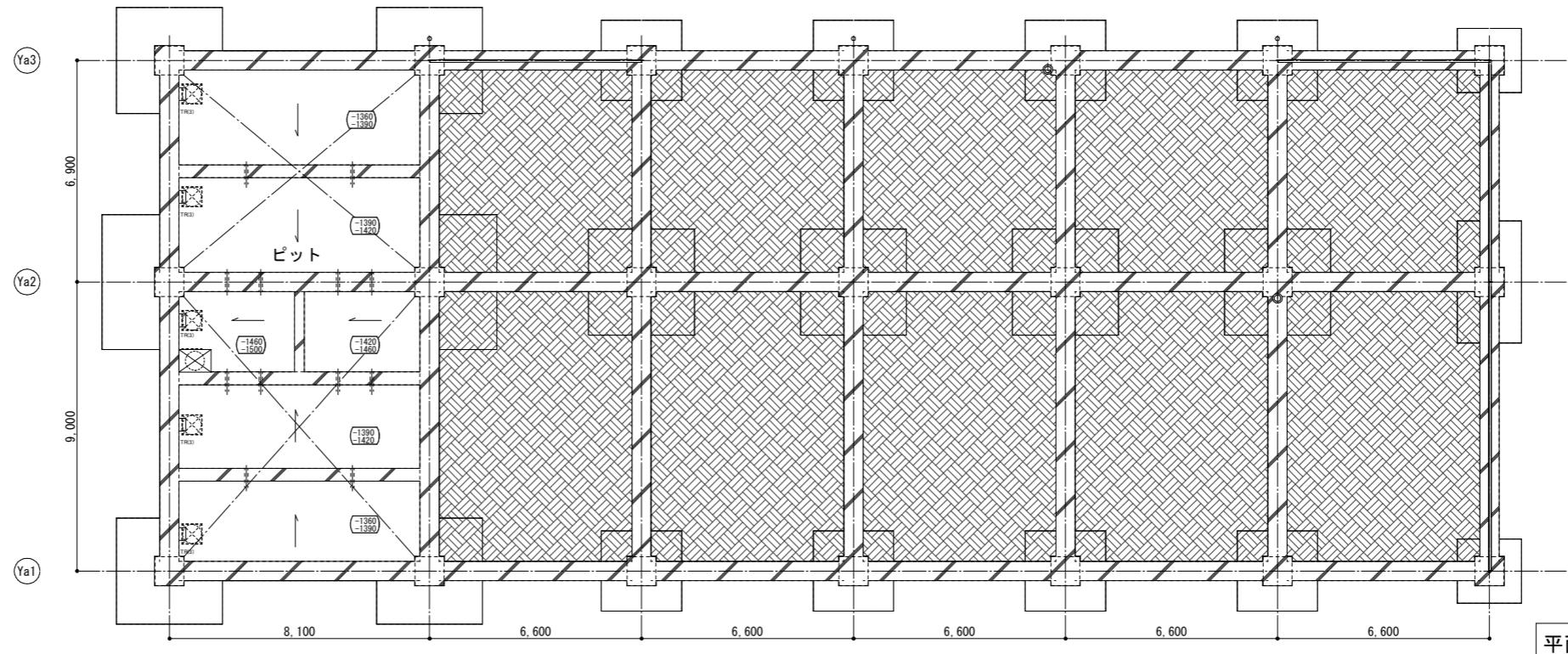
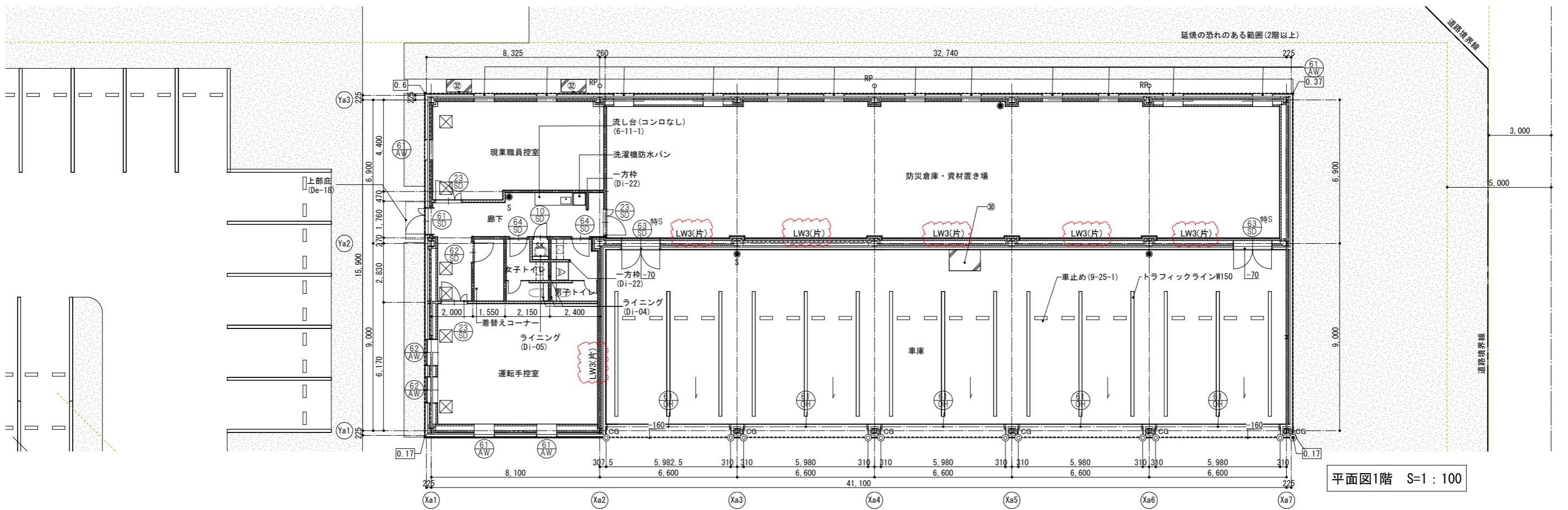
凡例		R C 壁	+000	床レベル (特記なき限りFL±0)						安井・隈設計共同体	工事名称	那須塩原市新庁舎建設工事	図面番号		
		L G S 壁		水勾配 (特記なき限り1/100) (排水側溝は1/200) その他3,000程度)											
		L G S 壁 (耐火/遮音)		鋼製グレーティング側溝T-20普通目						<管理技術者> 一級建築士 國土交通省大臣登録 第 254199 号 喜多 浩之	図面名称	平面図1階 (庁舎)	A1 = 1 : 200	種別	建築
				排水側溝(5-06-1) 特記無き限りW300									A3 = 1 : 400		
		EXP床								喜多 浩之	発注者	那須塩原市	A - 03-03		



限りスラフま
(2020年版)



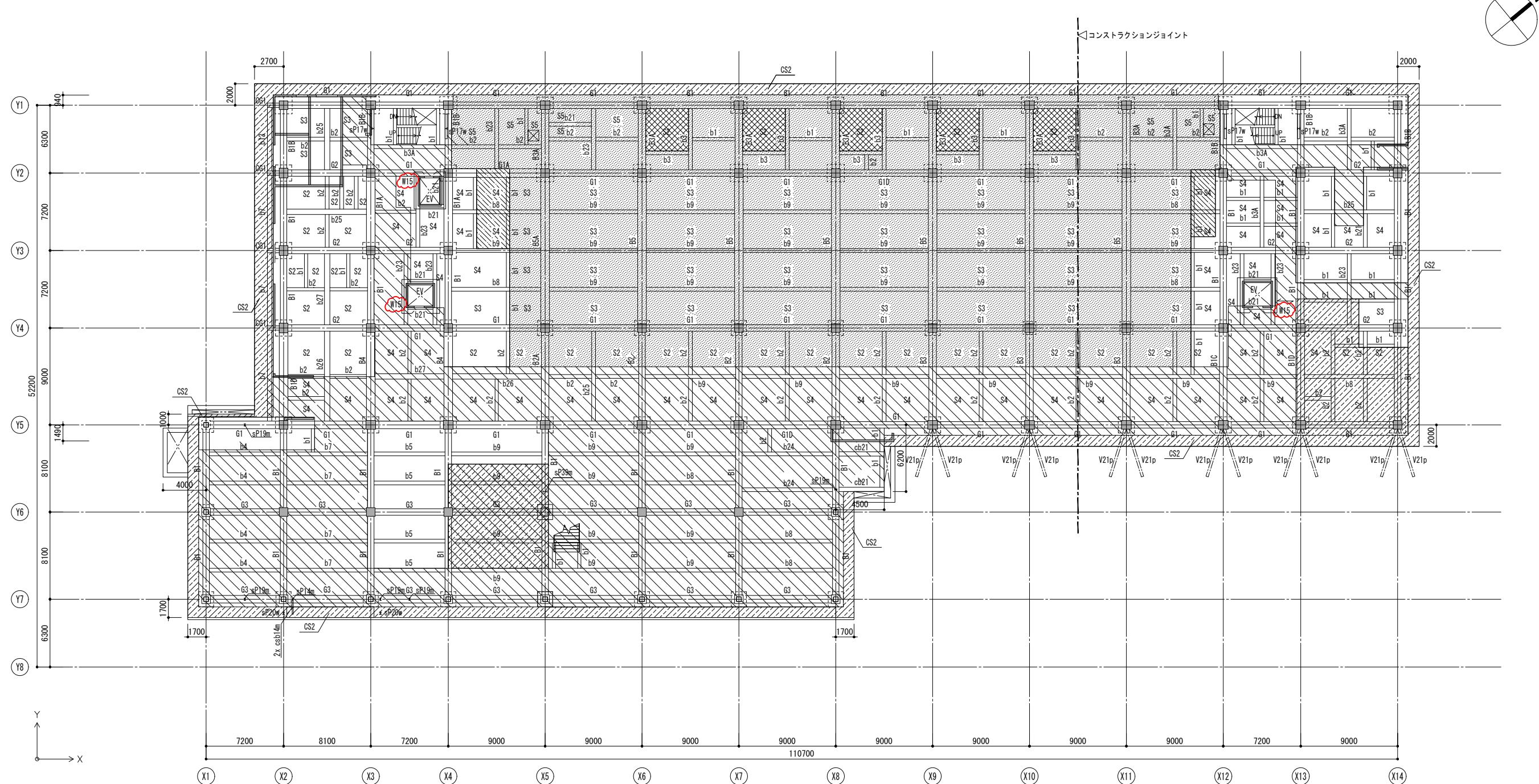
1F キープラン



凡例	梁貫通孔 内径600φ (孔上部両面にステンレス製取っ手22φ)	断熱範囲	水勾配 (特記なき限り1/200)	縦縫 (特記なき限り鋼管125φとする) 点線は横引き管を示し、掃除口(5-31-11)を設ける
	通気管 (硬質塩ビ管 100φ)	埋め戻し (防湿フィルム有)		
	下部に通水管 (硬質塩ビ管100φ半割 緊急排水槽の場合300φ半割)		タラップ (特記なき限り5段) 8-31-11に準ずる	
	1階床下断熱範囲 (厚さ40mm)		上部マンホール (600φ)	※可動式ブースは消防予第211号より消防用設備等の設置無し
	釜場 (特記なき限りW1000×D1000×H700 コンクリート直均し)			この図面に表現された梁貫通孔、通気管、通水管等はピットの考え方を示すものであり、実際の施工数量は、構造共通事項の梁貫通孔補強リストによる。
凡例	R C壁 +000	床レベル (特記なき限りFL±0)	伸縮目地 (パラベット、基礎あごから600 その他3,000程度)	横引きルーフドレイン (特記なき限り鉄管100φ)
	---	水勾配 (特記なき限り1/100) (排水側溝は1/200)		消火器BOX(床置型)
	---			マンホール (特記なき限り600φ)
	L G S壁			丸環
	---			柱下端石
	L G S壁 (耐火・遮音)			視覚障がい者用タイル
	---			▲代替進入口
	機械基礎			◆非常用進入口
	排水側溝(5-06-1)特記無き限りW300			●出入口
				■避難器具 (緩降機)
	EXP床			※消火器は「粉末ABC10型消火器」とする
				○ CG CG コーナーガード (De00)
				OF CG オーバーフロー管

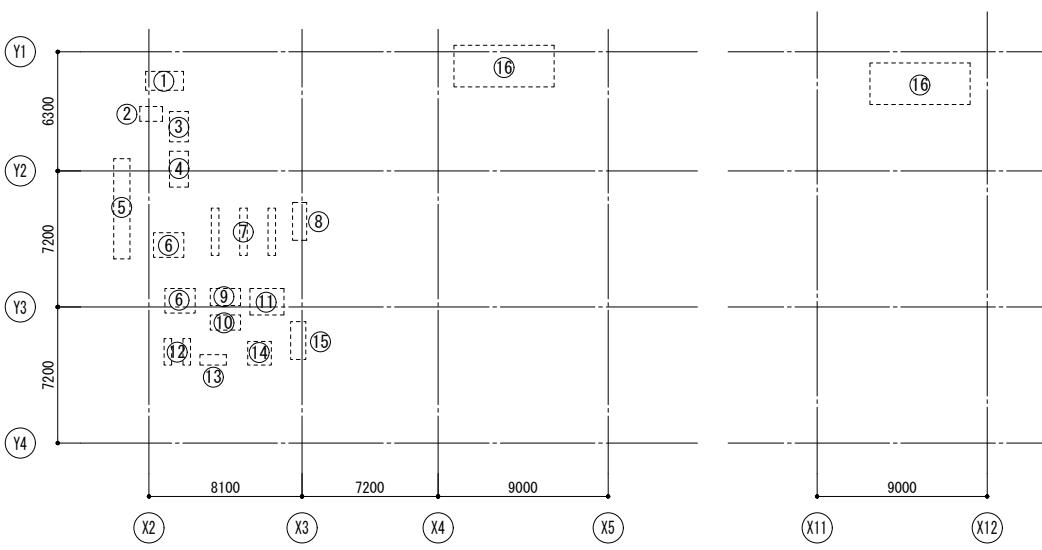
*廊下204, 303, 304は欠番

安井・隈設計共同体 <管理技術者> 一級建築士 国土交通省大臣登録 第 254199 号	工事名称	那須塩原市新庁舎建設工事	図面番号
	図面名称	車庫棟 平面図 ピット・1階 A1 = 1:100 A3 = 1:200	種別 建築
	発注者	那須塩原市	A - 31-01



1階設備機器伏図 1:200

番号	機器重量(kN)	基礎サイズ(mm)
1	2.0	1000x2000x200
2	1.0	800x1200x150
3	3.0	1000x1600x300
4	5.0	1000x1900x300
5	5.6	900x5300x200
6	3.0	1600x1300x300
7	150	400x2400x500 x3個
8	2.0	800x2000x150
9	2.0	1600x900x300
10	3.0	1600x800x300
11	4.0	1800x1400x300
12	20.0	400x1400x500 x2個
13	2.0	1400x550x300
14	20.0	1250x1250x200
15	2.0	800x2000x150
16	21.0	5300x2200x150

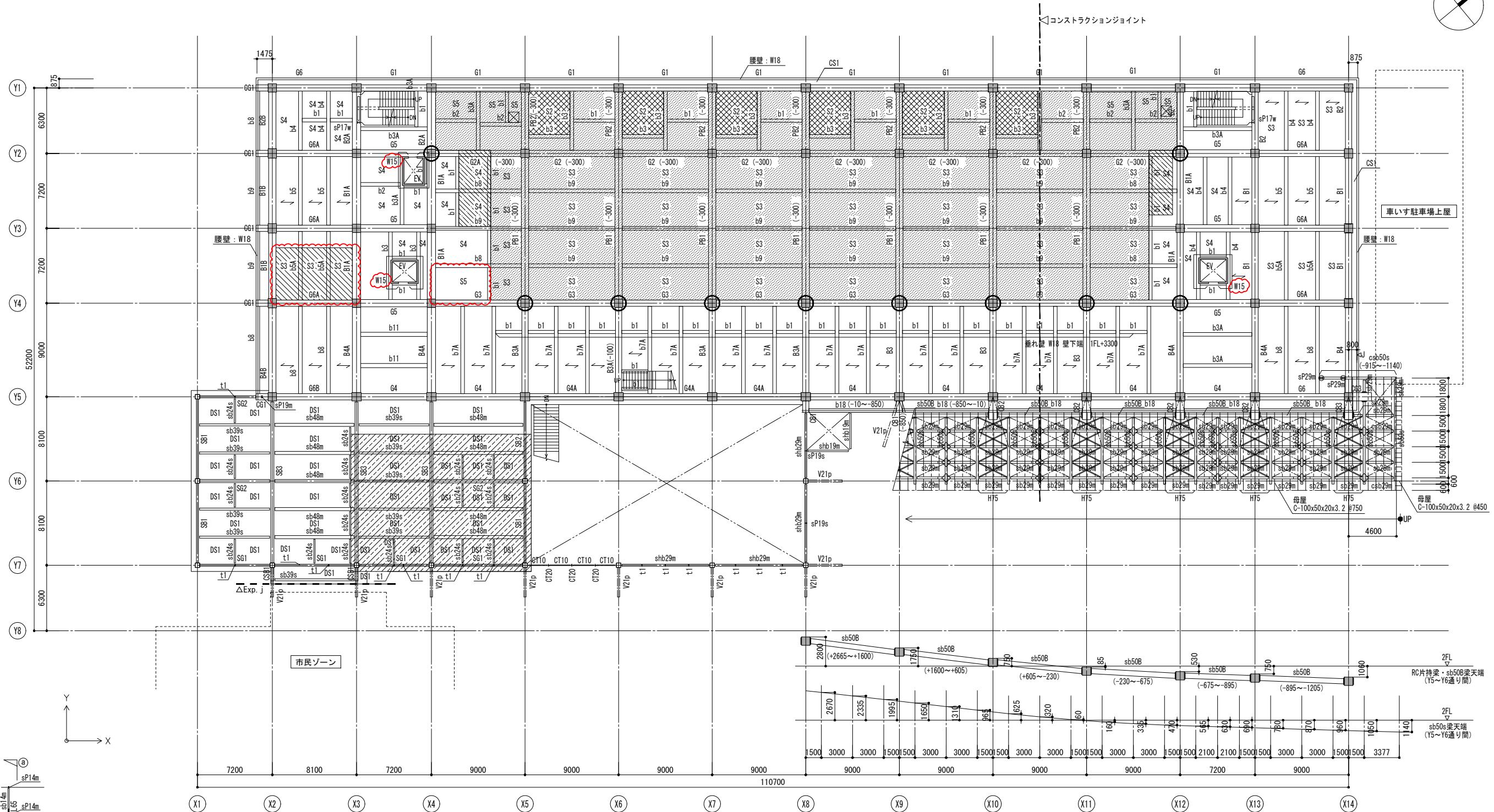
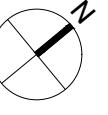


1階床梁伏図 1:2

共通事項（特記なき限り）

- ・設計GL = T.P.+280.3 m とする。
 - ・1FL = 設計GL+200 とする。
 - ・スラブは S1 とする。
 - ・スラブ主筋方向は Y方向とし、←は X方向 を示す。
 - ・スラブ・小梁天端は FL-10 とする。
 - ・大梁天端は FL-300 とする。
 - ・壁は W18 とする。
 - ・ は スラブ・小梁天端 FL-100 とする。
 - ・ は スラブ・小梁天端 FL-300 とする。
 - ・ は スラブ・小梁天端 FL-900 とする。
 - ・ は スラブ・小梁天端 FL-50 とする。
 - ・ は スラブ・小梁天端 FL+100 とする。
 - ・スラブ下（または天）端と梁天（または下）端とレベルが生じる場合は梁天（または下）端を 増打 とする。
 - ・X10-X11間にコンストラクションジョイントを設ける。
コンクリートの乾燥収縮を考慮し、1ヶ月程度の期間をあけてコンクリートを後打ちする。

〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第344460号	工事名称	那須塩原市新庁舎建設工事	図面番号	
構造設計一級建築士 建築士証交付番号 第9667号	図面名称	【庁舎】 1階床梁伏図	A1=1/200 A3=1/400	種別 構造
足立 幸多朗	発注者	那須塩原市	S- 104	



2階床梁伏図 1:200

共通事項（特記なき限り）

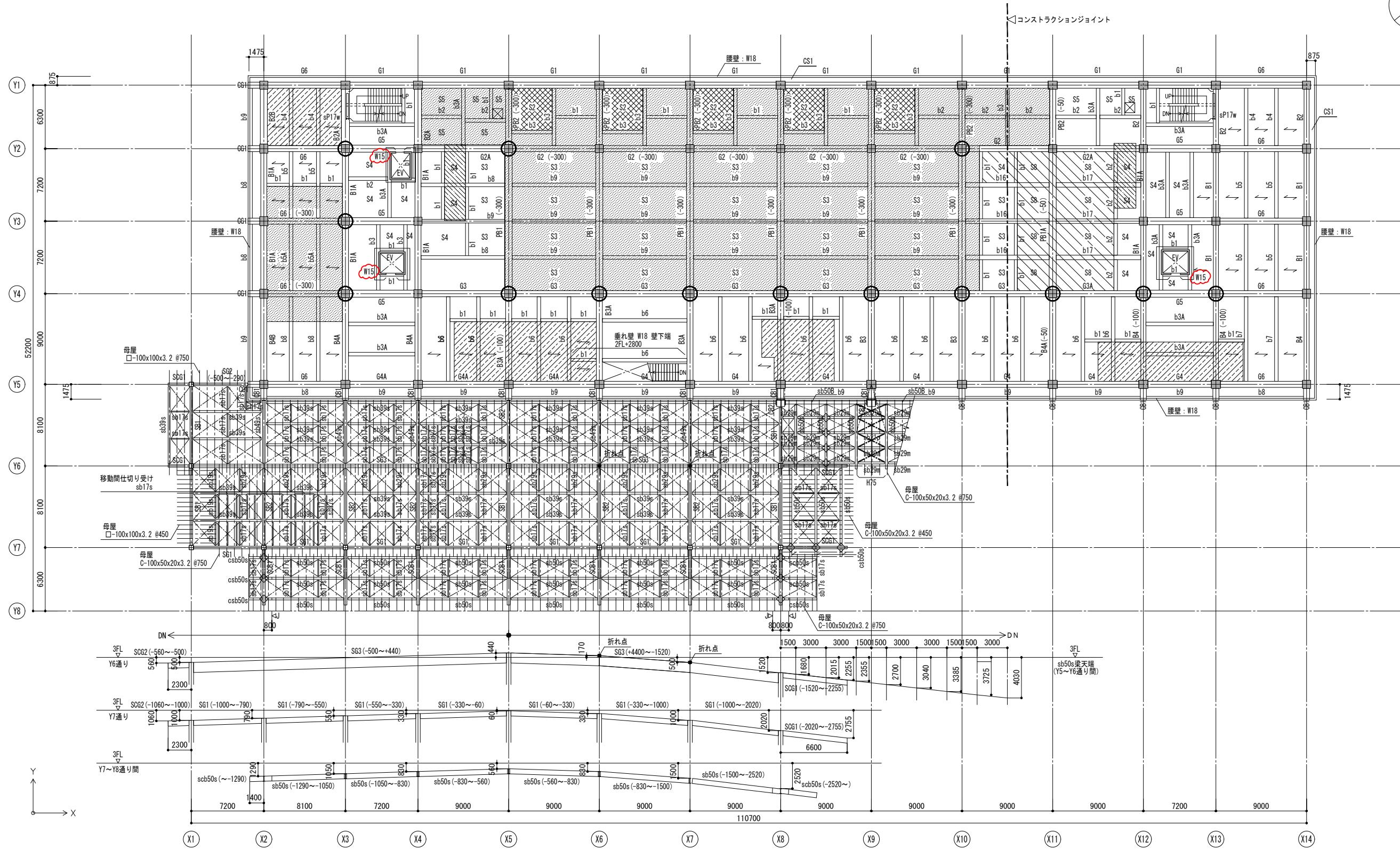
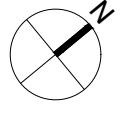
- ラブは S1 とする。
- スラブ主筋方向は Y 方向とし、← は X 方向を示す。
- スラブ・小梁天端は FL-10 とする。
- RC 大梁天端は FL-10 とする。
- 鉄骨大梁天端は FL-250 とする。
- 壁は W18 とする。
- () 内は FL からの 梁天端 を示す。
- ■ は スラブ・小梁天端 FL-100 とする。
- ■ は スラブ・小梁天端 FL-50 とする。
- ■ は スラブ・小梁天端 FL-100、
生じる場合は梁天（または下）端を 増打 とする。
- ── は 梁一梁剛接合部 を示す。
- ── は 吊材 (sP29m : H-294x200x8x12) を示す。
- ╳ は 水平プレース (H22:1-M22 ターピックル付) を示す。
- ○ 印は 機械式定着 を示す。（要領はS-126図参照）
- コンクリートの乾燥収縮を考慮し、1ヶ月程度の期間を
あけてコンクリートを後打ちする。
- 梁下軒天ハネル受けとして、パネル両端に C-100x50x20x3.2 @450
を設け、直行する梁に接続する。

2F-1500梁伏図 1:200

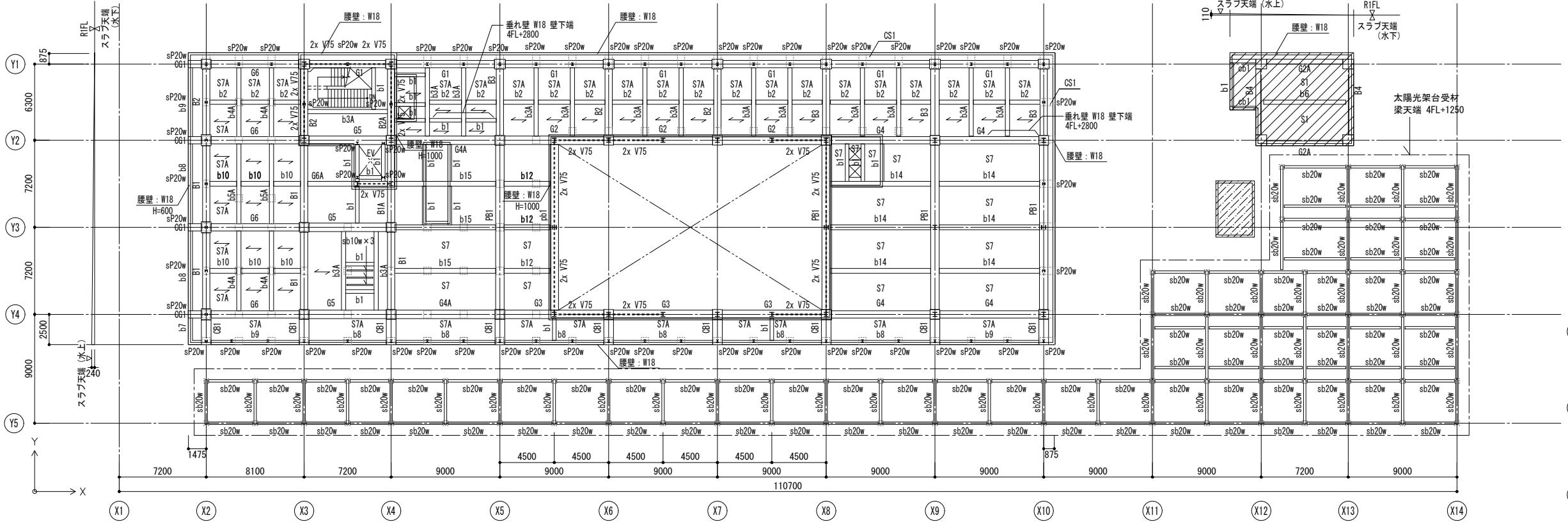
番号	機器重量(kN)	基礎サイズ(mm)
1	21.0	5300x2200x150

共通事項（特記なき限り）
◦ 鉄骨梁天端は FL-1500 とする。

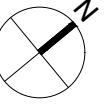
構造設計者	工事名称	那須塙原市新庁舎建設工事	図面番号
一級建築士 國土交通大臣登録 第34460号 構造設計一級建築士 建築士証交付番号 第9667号	図面名称	【庁舎】2階床梁伏図	A1=1/200 A3=1/400
足立 幸多郎	発注者	那須塙原市	S - 105



構造設計者 一級建築士 國土交通大臣登録 第344460号 構造設計一級建築士 建築士証交付番号 第9667号	工事名称 那須塙原市新庁舎建設工事	図面番号 A1=1/200 A3=1/400
	図面名称 【庁舎】3階床梁伏図	種別 構造
	発注者 那須塙原市	S - 106

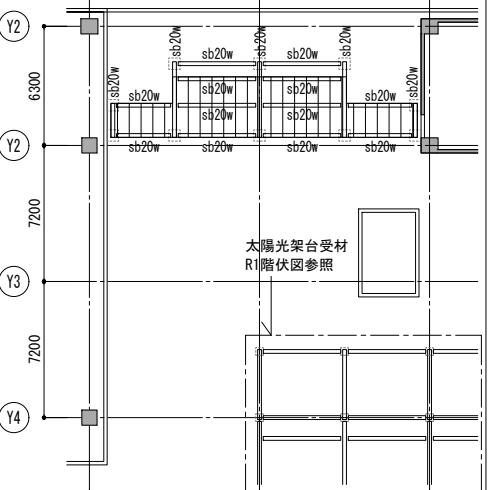


R1FL 階床梁伏図 1:200



共通事項（特記なき限り）

- スラブは S6 とする。
- スラブ主筋方向は Y方向とし、← は X方向 を示す。
- スラブ・小梁天端は 水勾配によるもの とする。
- 大梁天端は FL±0 とする。
- スラブ下（または天）端と梁天（または下）端とレベルが生じる場合は梁天（または下）端を 増打 とする。
- [] は スラブ・小梁天端 FL±0（水下）
～ +80（水上）とする。
- [] は スラブ・小梁天端 FL±0（水下）とし、
スラブ上に勾配コンクリートを設ける。
- [] は 屋上配管取出口 を示す。



R1FL+1250 レベル伏図 1:200

共通事項（特記なき限り）

4階床梁伏図 1:200

共通事項（特記なき限り）

- スラブは S6 とする。
- スラブ主筋方向は Y方向とし、←→ は X方向 を示す。
- スラブ・小梁天端は FL-10 とする。
- 大梁天端は FL-10 とする。
- 壁は W18 とする。
- () 内は FLからの 梁天端 を示す。
- は スラブ・小梁天端 FL-100 とする。
- は スラブ・小梁天端 FL-300 とする。
- は スラブ・小梁天端 FL+100 とする。
- は スラブ・小梁天端 FL+1200 とする。
- は スラブ・小梁天端 FL+150 とし、スラブ上に勾配コンクリートを設ける。
- は スラブ・小梁天端 FL±0 とし、スラブ上に勾配コンクリートを設ける。
- スラブ下（または天）端と梁天（または下）端とレベルが生じる場合は梁天（または下）端を 増打 とする。
- ○印は 機械式定着 を示す。（要領はS-126図参照）
- X10-X11間にコンストラクションジョイントを設ける。
コンクリートの乾燥収縮を考慮し、1ヶ月程度の期間をあけてコンクリートを後打ちする。

番号	機器重量(kN)	基礎サイズ(mm)
1	21.0	5300x2200x150

〈構造設計者〉

（構造設計士）
一級建築士 國土交通大臣登錄
第344
構造設計一級建築士 建築士証交付
第90

二專名稱 那須塙原市新市令建設二專

工事名称	那須塙原市新厅舎建設工事	図面番号	
図面名称	【庁舎】 4・R 1階床梁伏図	$A1=1/200$ $A3=1/400$	種別 構造

S- 107

小梁リスト		共通事項 (特記なき限り)													
		・幅止筋は D10@1000以内 とする。													
符号	b1 - cb1	b2	b3	b3A	b4			b4A			b5				
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	他端	中央	連梁端	他端	中央	連梁端	端部	中央			
断面															
B × D	300x500	350x500	350x750												
上端筋	3-D19	4-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	3-D22				
下端筋	3-D19	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22	4-D22	3-D22	4-D22				
あら筋	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200				
腹筋			2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10				
備考															
符号	b5A		b6	b7	b7A	b7B	b8			b9	b10				
位置	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	他端	中央	連梁端	端部	中央	全断面			
断面															
B × D	350x750	350x850	350x900	350x900	400x900	350x900	350x900	350x900	400x500						
上端筋	6-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	3-D25				
下端筋	4-D22	6-D22	6-D22	4-D22	6-D22	4-D22	6-D22	4-D22	6-D22	6-D22	3-D25				
あら筋	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200				
腹筋	2-D10	2-D10	4-D10												
備考															
符号	b11	b12		b13	b14		b15			b16					
位置	全断面	他端	中央	連梁端	全断面	他端	中央	連梁端	端部	中央	他端	中央	連梁端		
断面															
B × D	400x750	400x750	400x850	400x900	400x900	500x900	500x900	500x900							
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	6-D22	10-D22				
下端筋	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	4-D25	6-D22	6-D22	6-D22				
あら筋	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	3-D13 @150						
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	4-D10										
備考															
符号	b17			b21	b22	b23	b24		b25	b26					
位置	他端	中央	連梁端	全断面	全断面	端部	中央	全断面	他端	中央	連梁端				
断面															
B × D	500x900	300x1800	350x1800	350x1800	350x1800	500x1800	500x1800	500x1800							
上端筋	6-D22	6-D22	10-D22	3-D19	3-D22	4-D22	5-D22	4-D22	6-D22	6-D22	8-D22				
下端筋	8-D22	8-D22	6-D22	3-D19	3-D22	6-D22	4-D22	5-D22	8-D22	8-D22	6-D22				
あら筋	3-D13 @150	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D13 @200	3-D13 @200	3-D13 @150						
腹筋	4-D10	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13	10-D13				
備考															
符号	b27		cb21	b18											
位置	端部	中央	全断面	全断面											
断面															
B × D	500x1800	350x1800	700x700												
上端筋	8-D22	6-D22	5-D22	6-D25											
下端筋	6-D22	8-D22	4-D22	6-D25											
あら筋	3-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @150	2-D13 @150											
腹筋	10-D13	10-D13	10-D13	2-D10											
備考															

共通事項 (特記なき限り)											
・直押え部分は スラブ天端増打 ⑦10 とする。											
・土に接するスラブ下地業は 捨てコンクリート ⑦50、碎石 ⑦60 とする。											
・スラブ段差・範囲・寸法は、仕上類、開口、および設備等の取合いを考慮し決定すること。必要に応して小梁等で補強できるものとする。小梁、スラブなどの各種部材の位置、範囲は、監督職員の承認を得て軽微変更の扱いとなる対象の範囲内あるいは補強方針に準じて行なうものとする											

床版リスト

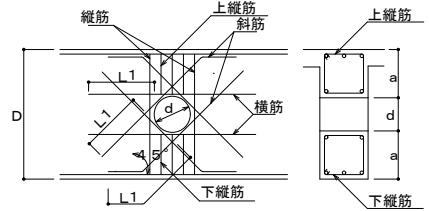
符 号	版 厚	層	短辺方向 (主筋方向)	長辺方向 (配筋方向)	備 考
S1	150	上	D10・D13 @200	D10 @200	モチアミ配筋
		下	D10 @200	D10 @200	
S2	150	上	D10・D13 @200	D10・D13 @200	モチアミ配筋
		下	D10・D13 @200	D10・D13 @200	
S3	150	上	D13 @200	D10・D13 @200	モチアミ配筋
		下	D10・D13 @200	D10・D13 @200	
S4	150	上	D13 @200	D13 @200	モチアミ配筋
		下	D13 @200	D13 @200	
S5	150	上	D10・D13 @150	D10・D13 @150	モチアミ配筋
		下	D10・D13 @200	D10 @200	
S6	180	上	D10 @200	D10 @200	モチアミ配筋
		下	D10 @200	D10 @200	
S7	180	上	D10・D13 @200	D10・D13 @200	モチアミ配筋
		下	D10・D13 @200	D10・D13	

梁貫通孔補強要領

- 共通事項（特記なき限り）
- 梁貫通孔補強は下記要領に従い、行うこととする。
 - 鉄筋コンクリート梁貫通孔補強は 監督職員の承諾を受け、既製品（大臣認定品）による補強も使用可とする。ただし、既製品による補強が現補強同等以上であることを提示し 監督職員の承諾を得ること。
 - 補強計算は無孔梁のせん断耐力を保証するものとし、梁端Mu時に基づくせん断力式は用いない。
 - 鉄骨梁部分の梁貫通補強はS-07図による。

(a) 鉄筋コンクリート部分の梁貫通孔補強

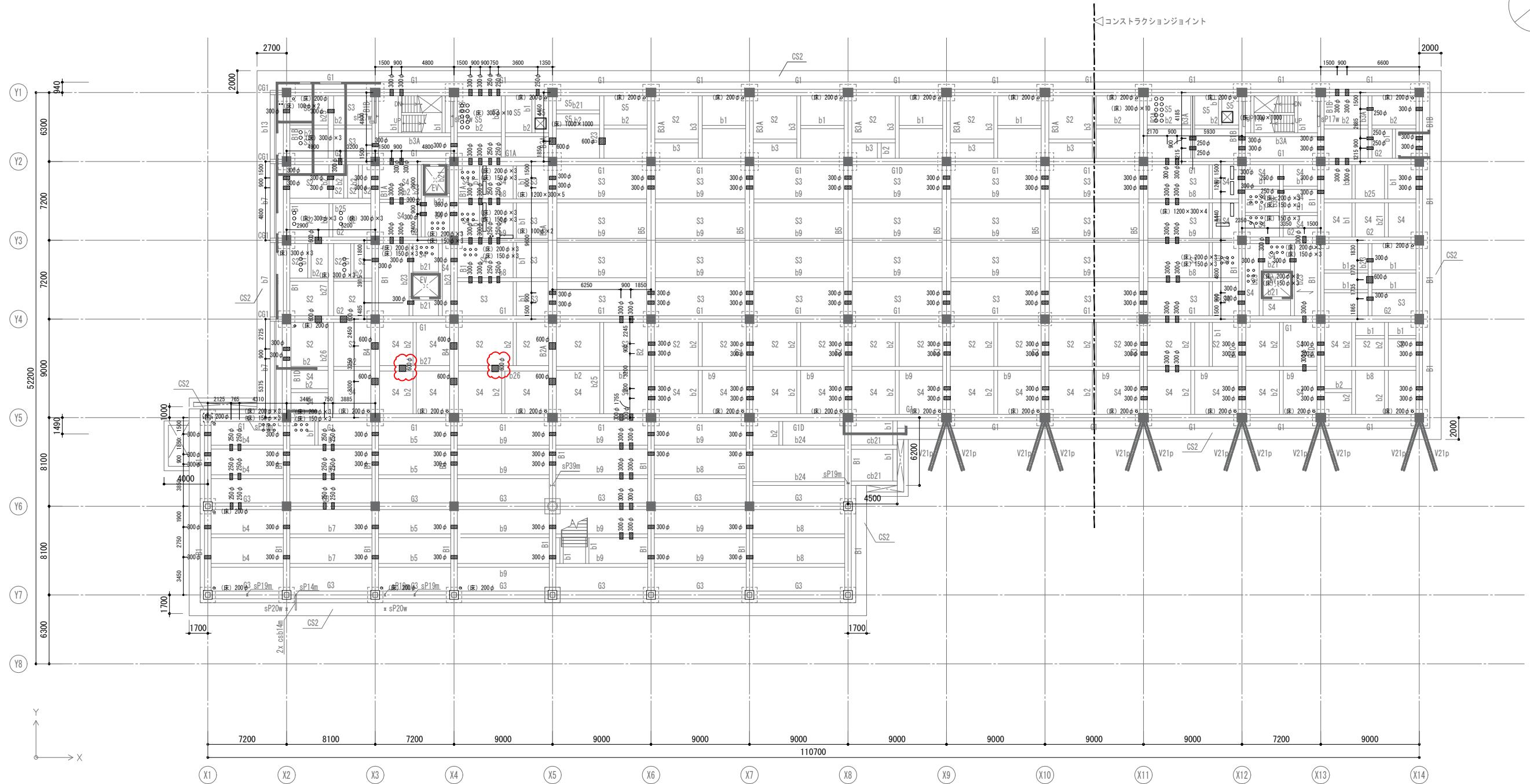
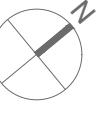
- 梁貫通孔位置 補強対象孔については S-02図に準じる。
(1階梁は原則、150φ超の貫通孔は柱面から1.0m程度以内貫通不可)
- ビットの連通管100φ、通気管150φ（半割）の位置は意匠図による。（補強不要）
- 貫通孔径150φ未満で、補強を必要とする場合は補強筋の配筋種類は H1 とする。



配筋種類	補 強 筋				
	斜 筋	縦 筋	横 筋	上 下 縦筋	配筋図
H 1	—	—	—	—	
H 2	2-2-D13	2-2-D13	—	—	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16	—	—	—	
H 5	4-2-D16	—	—	—	
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22	—	—	—	
H 8	4-2-D25	4-2-D16	2-2-D16	3-2-D16	
H 9	4-2-D29	—	—	—	
H 10	4-3-D29	4-3-D16	2-3-D16	3-2-D16	
H 11	4-3-D32	—	—	—	
H 12	4-4-D32	4-4-D16	2-4-D16	3-2-D16	
H 13	4-4-D32	4-4-D19	—	—	
H 14	4-5-D32	4-5-D19	2-5-D16	3-2-D16	
H 15	4-5-D32	4-5-D22	—	—	

鉄筋コンクリート梁貫通補強リスト																				
1階梁			2階梁			3階梁			4階梁			R1階梁			小梁					
符号	サイズ	配筋種類	符号	サイズ	配筋種類	符号	サイズ	配筋種類	符号	サイズ	配筋種類	符号	サイズ	配筋種類	符号	サイズ	配筋種類			
G1	250Φ	H6	G2A	300Φ	H4	G2A	300Φ	H5	G2	300Φ	H4	G2	300Φ	H5	b3	250Φ	H3	b11	250Φ	H3
	300Φ	H7	G3	300Φ	H5	G3	300Φ	H5	G3	300Φ	H6	G3	300Φ	H4	b3A	250Φ	H3	b12	250Φ	H3
G1A	250Φ	H6	G4	300Φ	H6	G3A	300Φ	H6	G3A	300Φ	H5	G5	4-4-D32	4-4-D16	b4	250Φ	H3	b13	275Φ	H3
	300Φ	H6	G5	250Φ	H6	G5	250Φ	H5	G5	250Φ	H4	G4A	300Φ	H5	b4A	250Φ	H2	b14	300Φ	H4
G2	300Φ	H6	G6A	300Φ	H7	G6	300Φ	H5	G6	300Φ	H5	G5	250Φ	H3	b5	250Φ	H2	b15	300Φ	H4
	600Φ	H8	G6B	300Φ	H8	B1	250Φ	H4	G6A	300Φ	H5	G6	300Φ	H3	b5A	250Φ	H2	b17	300Φ	H4
G3	250Φ	H5	B1	250Φ	H4	B1A	250Φ	H4	B1	250Φ	H3	G6A	250Φ	H5	b6	275Φ	H3	b23	300Φ	H4
B1	300Φ	H6	B1A	250Φ	H4	B2	250Φ	H4	B1A	250Φ	H5	B1	250Φ	H3	b7	250Φ	H3		600Φ	H5
B1A	300Φ	H6	B2	250Φ	H7	B2A	250Φ	H5	B2	250Φ	H3	B2	250Φ	H4		275Φ	H3	b25	300Φ	H6
B1B	300Φ	H6	B2A	250Φ	H7	B3	275Φ	H5	B2A	250Φ	H4	B3	250Φ	H3	b7A	300Φ	H2	b26	600Φ	H8
B1C	300Φ	H6	B3A	300Φ	H5	B3A	275Φ	H5	B3	275Φ	H3				b8	250Φ	H3	b27	600Φ	H7
B1D	300Φ	H6	B4A	300Φ	H6	B4	275Φ	H4	B3A	275Φ	H4					275Φ	H3			
B2	300Φ	H7				B4A	275Φ	H5	B4	275Φ	H4	B4	275Φ	H5		300Φ	H3			
B2A	600Φ	H9							B4A	275Φ	H5				b9	250Φ	H4			
B3	300Φ	H7														300Φ	H4			
B3A	600Φ	H9																		
B4	600Φ	H9																		
B5	300Φ	H7																		
B5A	300Φ	H7																		

〈構造設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第344460号 構造設計一級建築士 建築士証交付番号 第9667号	工事名称	那須塩原市新庁舎建設工事	図面番号
足立 幸多朗	図面名称	【庁舎】梁貫通要領	種別 構造
足立 幸多朗	発注者	那須塩原市	S- 151

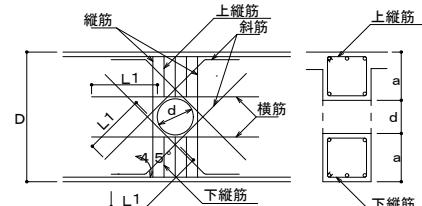


梁貫通孔補強要領

- 共通事項（特記なき限り）
- 梁貫通孔補強は下記要領に従い、行うこととする。
 - 鉄筋コンクリート梁貫通孔補強は 監督職員の承諾を受け、既製品（大臣認定品）による補強も使用可とする。ただし、既製品による補強が現補強同等以上であることを提示し 監督職員の承諾を得ること。
 - 補強計算は無孔梁のせん断耐力を保証するものとし、梁端Mu時に基づくせん断力式は用いない。
 - 鉄骨梁部分の梁貫通補強はS-07図による。

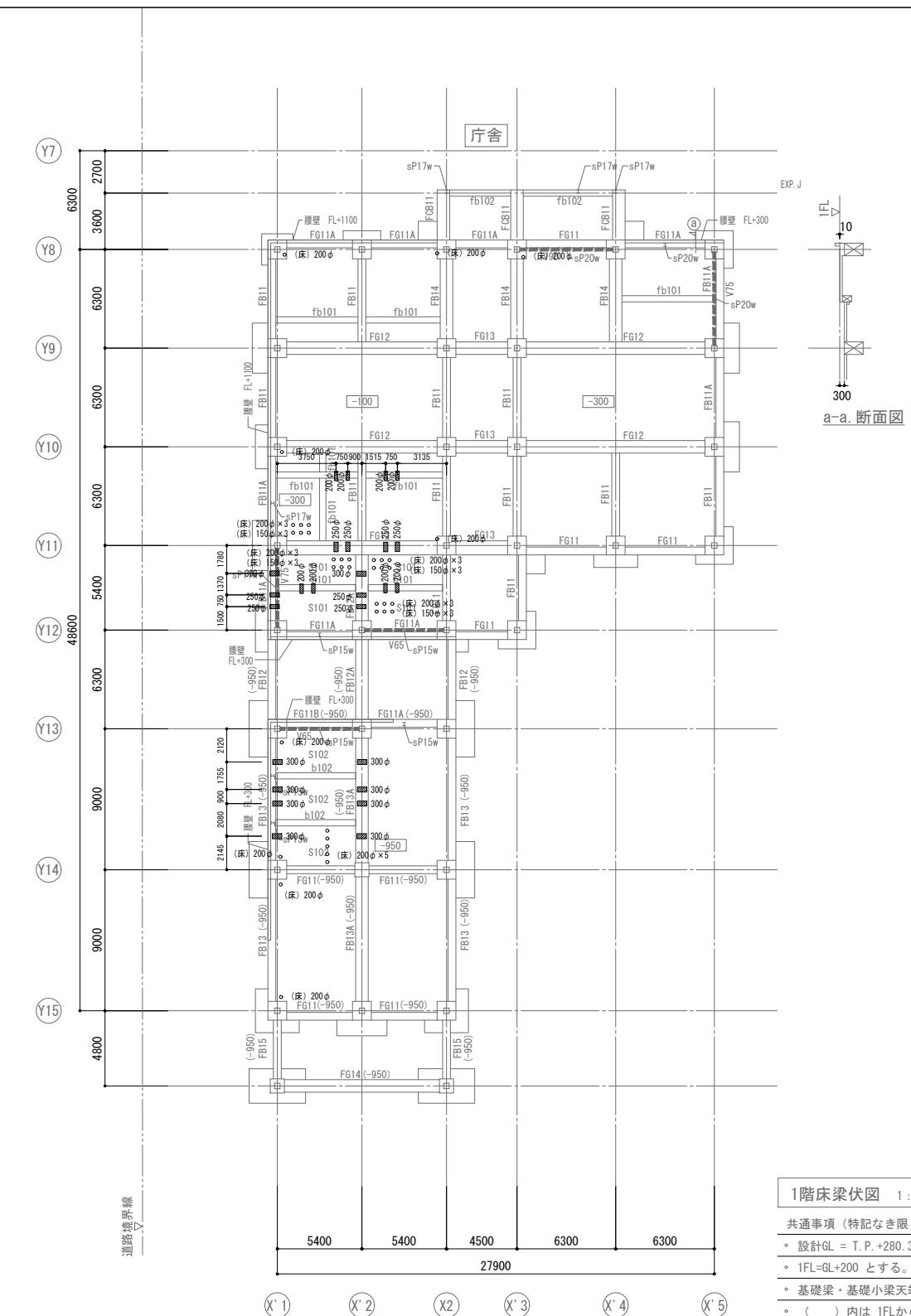
(a) 鉄筋コンクリート部分の梁貫通孔補強

- 梁貫通孔位置 補強対象孔については S-02図に準じる。
(1階梁は原則、150φ超の貫通孔は柱面から1.0m程度以内貫通不可)
- ビットの連通管100φ、通気管150φ（半割）の位置は意匠図による。（補強不要）



配筋種類	補 強 筋				
	斜 筋	縦 筋	横 筋	上 下 縦筋	配筋図
H 1	2-2-D13	—	—	—	
H 2	—	2-2-D13	—	—	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16	—	—	—	
H 5	4-2-D16	—	—	—	
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22	—	—	—	
H 8	4-2-D25	4-2-D16	2-2-D16	3-2-D16	
H 9	4-2-D29	—	—	—	
H 10	4-3-D29	4-3-D16	2-3-D16	3-2-D16	
H 11	4-3-D32	—	—	—	
H 12	4-4-D32	4-4-D16	2-4-D16	3-2-D16	
H 13	4-4-D32	4-4-D19	—	—	
H 14	4-5-D32	4-5-D19	2-5-D16	3-2-D16	
H 15	4-5-D32	4-5-D22	—	—	

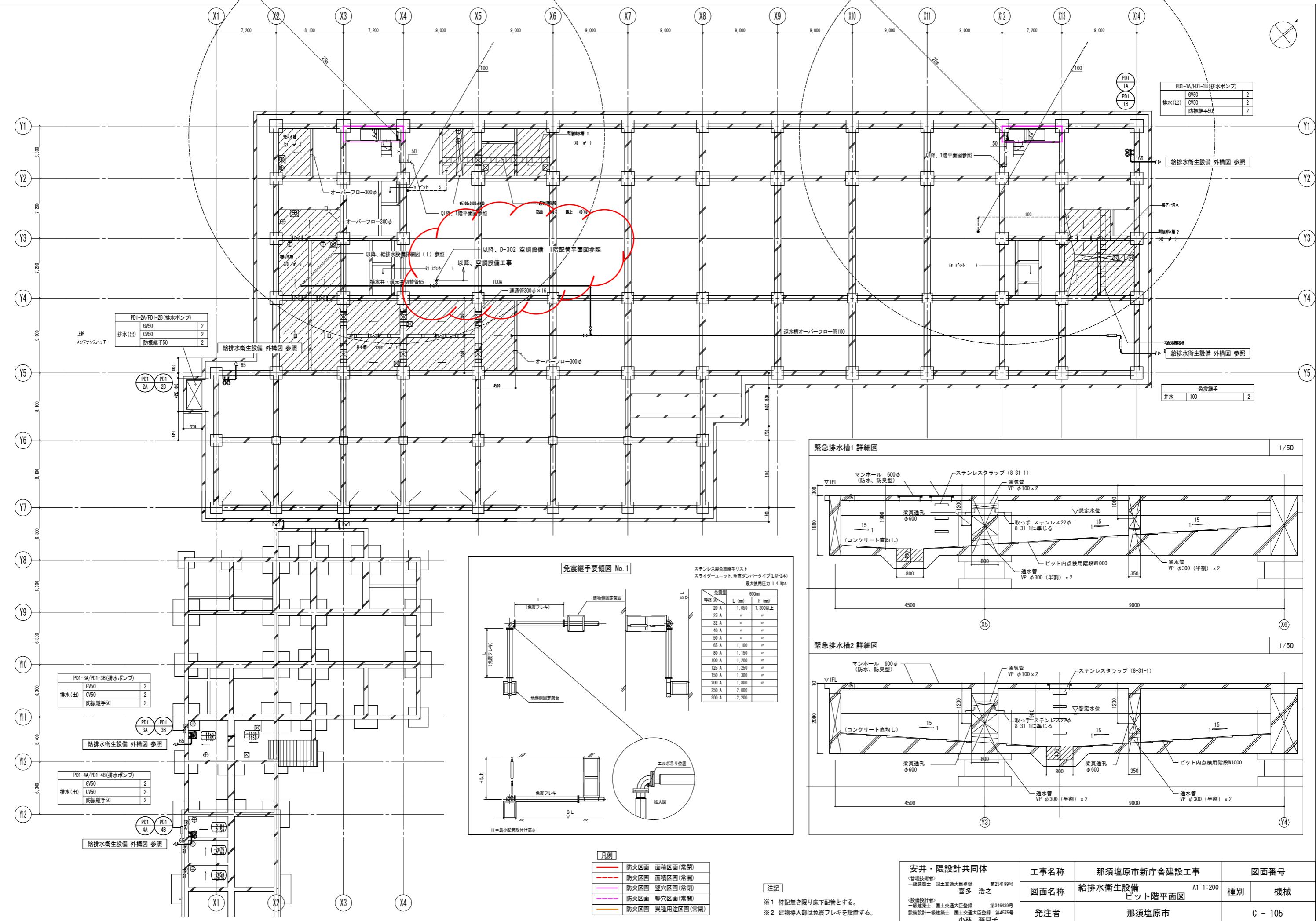
鉄筋コンクリート梁貫通補強リスト		
符号	サイズ	配筋種類
FG12	250Φ	H5
FB11A	250Φ	H3
FB11A	300Φ	H4
FB12A	250Φ	H5
FB12A	300Φ	H5
FB13	300Φ	H4
FB13A	300Φ	H5
b101	200Φ	H3
fb101	200Φ	H3

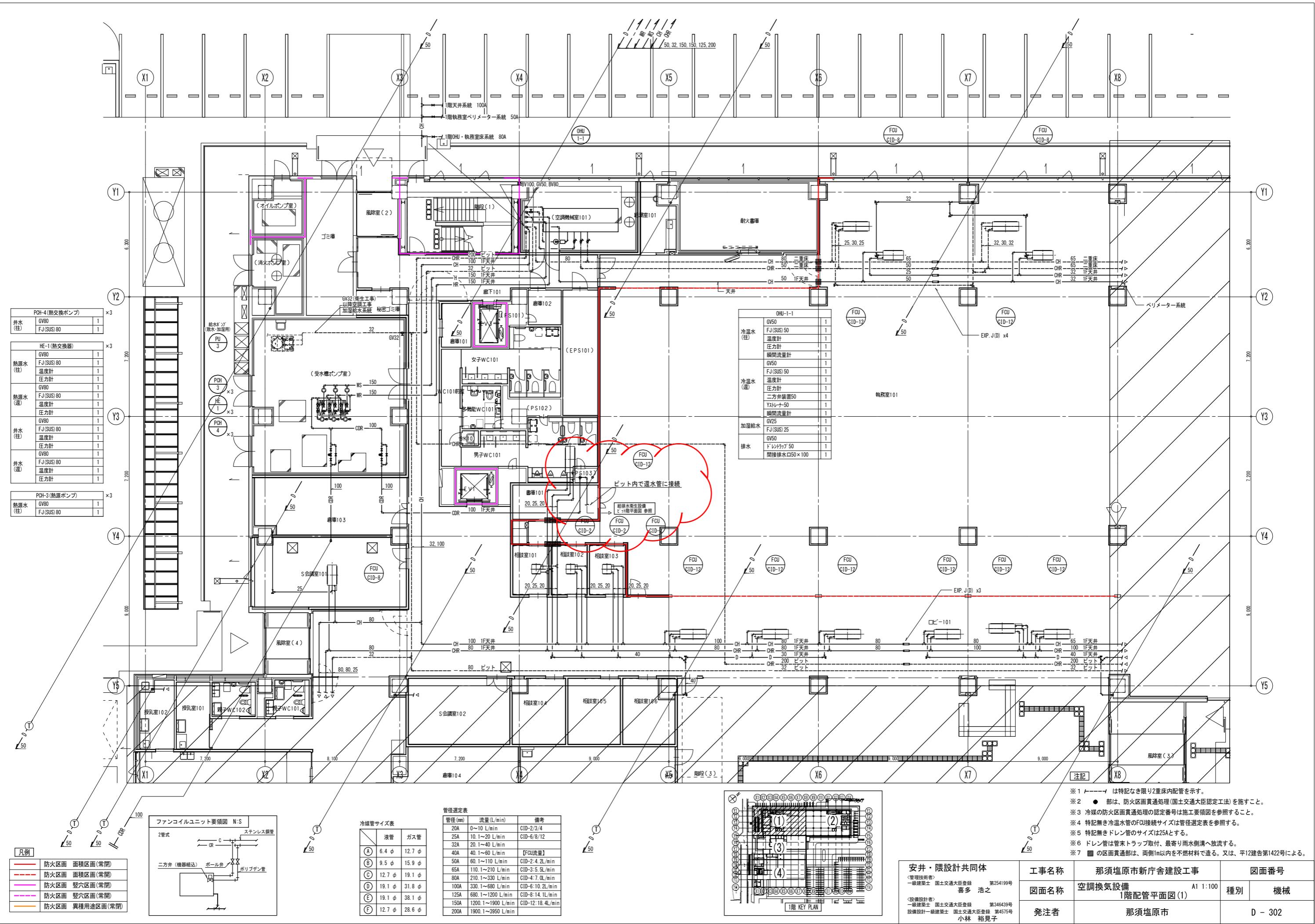


1階床梁伏図 1 : 400

- 共通事項（特記なき限り）
- 設計GL = T.P.+280.3mとする。
 - 1FL=GL+200とする。
 - 基礎梁・基礎小梁天端は 1FL-300とする。
 - () 内は 1FLからの梁天端を示す。
 - スラブは 土間コンクリート MS101とする。
 - スラブ天端は FL-10、小梁天端は FL-160とする。
 - 印は スラブ天端 FL-50とする。
 - 印は スラブ天端 FL-100とする。
 - 印は スラブ天端 FL-300とする。
 - 印は スラブ・小梁天端 FL-950とする。
 - 印は FL-10から FL-100まで スラブ増打とする。
 - 印は 腰壁 を示す。

工事名称	那須塩原市新庁舎建設工事	図面番号
図面名称	【市民ゾーン】梁貫通伏図 A1=1/200 A3=1/400	種別 構造
足立 幸多朗 発注者	那須塩原市	S- 210





フローリング断面詳細参考図

木肌無垢フローリング(6面UV塗装 下部3箇所スリット加工) (支給品)
耐水合板t12
押出法ポリスチレンフォーム断熱材t25

